



2019年10月30日

各 位

会社名 太平洋工業株式会社
代表者 代表取締役社長 小川信也
(コード番号 7250 東証・名証第一部)
問合せ先 経営企画部長 竹下 功
(TEL 0584-93-0121)

中期経営計画「OCEAN-22」に関するお知らせ

当社は、2022年度を最終年度とする中期経営計画「OCEAN-22」を策定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

<記>

1. 中期経営計画見直しの概要

長期ビジョン「PACIFIC GLOCAL VISION 2020」の実現に向けた具体的アクションプランである中期経営計画「OCEAN-20」を2017年度に策定しました。2018年8月にSchradlerグループが展開するバルブ事業の取得に伴い、2018年11月に「OCEAN-20」の目標値を見直し、推進してきましたが、連結売上高目標について1年前倒しで達成する目途がついたこと、また、業界動向の変化が大きいことを考慮し、改訂することとしました。

社会から信頼され、期待される企業であり続けるため、ステークホルダーの皆様との絆を深める活動に積極的に取り組み、未来に向けた価値の創造と企業経営の質の向上を実現してまいります。

2. 2018年度実績と2022年度目標

	2018年度実績	2022年度目標
連結売上高	1,450億円	1,750億円
連結営業利益率	7.1%	7%台
ROA(営業利益)	5.7%	6%台

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、日本および海外の経済情勢や当社の関連する業界動向、為替変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績の結果は記載の予想と大幅に異なる可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

以上

中期経営計画「OCEAN-22」

太平洋工業グループはこれまで、長期ビジョン「PACIFIC GLOBAL VISION 2020」の実現に向けた具体的アクションプランとして、中期経営計画「OCEAN-20」を策定し、推進してきました。その取り組みの一つとして、2018年8月に Schrader グループ 3社を子会社化し、創業のバルブ事業に磨きをかけるとともに、世界のリーディングポジション構築に大きく前進しました。これを受け、同年11月には「OCEAN-20」の目標値を見直しましたが、連結売上高目標について、1年前倒しで達成する目途が付き、また、業界動向の変化が大きいことを考慮し、このたび中期経営計画をローリングし、「OCEAN-22」を策定しました。

2022年度の目標値は、連結売上高が2018年度実績の1,450億円より20.6%増収の1,750億円、連結営業利益率は7%台、営業利益ベースのROAは6%台としました。

連結売上高は2018年度比で大きく伸びますが、営業利益率およびROAは、Schraderのバルブ事業取得に係る「のれん」および、プレス・樹脂事業における拠点整備・大型プレス機の戦略投資などによる償却負担増加等により、目標値を設定しました。

OCEAN-22では、ものづくりの足元固めを行い、次なる飛躍に向けた体質の強化とそれを実行する人財育成に注力するとともに、ESG（環境、社会、ガバナンス）の取り組みも強化し、サステナビリティ経営を推進していきます。

重点取り組み

信 頼 <i>Trust</i>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 収益力確保と企業価値の向上 ▶ ガバナンス向上とリスク低減 ▶ ESG経営による事業の充実
革 新 <i>Innovation</i>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 開発・技術のイノベーションを実現 ▶ AIとIoTを活用した生産技術の革新 ▶ ものづくり改革による高効率なライン造り
挑 戦 <i>Challenge</i>	<ul style="list-style-type: none"> ▶ SDGs目標に向けたグローバル経営の実現 ▶ ダイバーシティの推進と次世代人財の育成 ▶ チャレンジできる企業風土の醸成

